

床ずれ防止マットレス

床ずれ防止マットレス選びのポイント

一度できてしまうと治りにくい床ずれ。手当てより予防が大切です。

活動性: 自力での体位変換能力がある場合は、活動性を重視して選びましょう。端座位や移乗動作の安定性がポイントです。

体圧分散性: 自力での体位変換ができない場合は体圧分散性を優先して選びましょう。すでに床ずれがある場合は症状に応じて選びます。

通気性: 床ずれが心配な寝たきりの方の多くは失禁があります。失禁や発汗などに配慮した清潔さや通気性はとても重要です。

利用者の状態	利用者の床ずれステージ				
	予防	ステージⅠ	ステージⅡ	ステージⅢ	ステージⅣ
体位変換ができる方	床ずれ防止・静止型マットレス	床ずれ防止・静止型マットレス	床ずれ防止・静止型マットレス		
	床ずれ防止・静止型マットレス	床ずれ防止・静止型マットレス	床ずれ防止・静止型マットレス		
	床ずれ防止・静止型マットレス	床ずれ防止・静止型マットレス	床ずれ防止・静止型マットレス		
	床ずれ防止・静止型マットレス	床ずれ防止・静止型マットレス	床ずれ防止・静止型マットレス		
	床ずれ防止・静止型マットレス	床ずれ防止・静止型マットレス	床ずれ防止・静止型マットレス		
体位変換が十分確保できない方 呼吸苦 骨突出・拘縮・ムレ 浮腫・腹水・痛み 自力で体位変換ができない		床ずれ防止エアマットレス	床ずれ防止エアマットレス	床ずれ防止エアマットレス	床ずれ防止エアマットレス
		床ずれ防止エアマットレス	床ずれ防止エアマットレス	床ずれ防止エアマットレス	床ずれ防止エアマットレス
		床ずれ防止エアマットレス	床ずれ防止エアマットレス	床ずれ防止エアマットレス	床ずれ防止エアマットレス
		床ずれ防止エアマットレス	床ずれ防止エアマットレス	床ずれ防止エアマットレス	床ずれ防止エアマットレス
		床ずれ防止エアマットレス	床ずれ防止エアマットレス	床ずれ防止エアマットレス	床ずれ防止エアマットレス
		床ずれ防止&体位変換エアマット	床ずれ防止&体位変換エアマット	床ずれ防止&体位変換エアマット	床ずれ防止&体位変換エアマット

※目安になるマットレスから動きやすさや相性をみて選びましょう。 ※本表はあくまで目安です。ご使用にあたっては必ず主治医などにご相談ください。

マットレスの厚さをご確認ください

JJシリーズをお使いの場合、マットレスの厚さをご確認ください。JIS規格(JIS T9254:2009)では、マットレス上面からサイドレールの一番高い箇所までの高さは22cm以上と規定されています。JJシリーズでは、エアマットレスを載せて空気を入れた時、マットレスとの合計の厚さが19cm以下であることをご確認ください。

